

井上明夫新聞 ～日田市議会だより～



こんにちは。井上明夫です。

新しい年を迎え、皆様方もそれぞれ一年の計をたてられていることと思います。私は昨年のおごろ、市議会議員選挙に挑戦する決意を固めておりました。いま1年を振り返って見ると、後援会づくりから立候補準備・選挙運動その他ほんとうにいろいろな皆さんに助けていただきながら当選を果たしたことに感激を新たにしております。

本年も感謝の気持ちや初心を忘れることなく、一步一步努力しながら議員活動にはげんでいきます。

12月議会(平成15年度第4回定例会)

「地区公民館公設民営化」についての議案は継続審議に

12月3日から会期17日間で開催され、議案28件が可決されましたが、1件が継続審議となりました。(詳しい題目は2月1日付市報の「市議会だより」を御参照ください)

継続審議となったのは「日田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について」、いわゆる「地区公民館公設民営化」についての議案です。継続審議となった主な理由は次のとおりです。

- ①「公設民営化」により民間委託される地区公民館の主事(現在は市職員が配属されている)の、雇用形態や命令系統に改善の余地がある。(例えば、公民館間での異動がないので人的交流がなされない点や、公民館長は市の嘱託職員であるため公民館主事に命令する立場でなくなる点など)
- ②地区公民館の中に16年度からの導入に反対しているところがあるので、理解を得てから、全公民館一斉の導入が望ましい。

これによって、この制度の16年4月からの導入は微妙になりましたが、新しい制度のもと、より地域住民が利用しやすい公民館運営の形態となっていくよう、十分な審議を継続していきます。

~~~~~公職選挙法豆知識 「年賀状について」~~~~~

お正月といえば年賀状ですが、議員が自分の選挙区内の有権者に出せる年賀状は、「自筆の返礼のみ」です。そのため、私もお返事のみ書かせていただきました。

~~~~~

どうなる！？市町村合併

日田市郡合併協議会も、平成17年3月の合併を目指して昨年までに11回の協議を重ねてきましたが、「合併の方式」をめぐる日田市と日田郡の意見がくいちがい、波乱含みの様相を呈してきております。

編入か新設か！？

*日田市は、人口規模（下図参照）・財政規模が大きいこと、また過去の経緯から（昭和30年の日田市・大鶴村・夜明村・小野村・東有田村・五和村の合併は編入）編入合併を主張しています。

日田市郡の人口（平成12年国勢調査より）

市町村	人口 人	構成比 %
日田市	62,507	81
前津江村	1,646	2
中津江村	1,338	2
上津江村	1,308	2
大山町	3,910	5
天瀬町	6,660	8
計	77,369	

前回編入合併時の日田市等の人口（日田市20年史より）

市町村	人口 人	構成比%
日田市	49,512	73
大鶴村	4,723	7
夜明村	2,476	4
小野村	2,334	3
東有田村	4,382	6
五和村	4,480	7
計	67,907	

*日田郡は「大小に関わらず自治体は対等」という主に情動的な理由から新設合併を主張しています。過去に編入された地域の立場からは、気持ちはわかりますが、これまでの協議会では「対等の精神で」町村の政策を尊重しながら細部の政策を詰めているので、「新設でなければ対等でない」ということもないと思います。

選挙はどうなるか！？

*はっきりしていることは、**新設なら市長選挙があり、編入なら市長選挙がない**ということです。議員選挙は、新市の議員定数は30人以内ですが、今回は特例措置としていろいろな方法で選挙ができます。編入なら市議はそのまま、町村議は増員選挙で選ぶか、または失職します。昭和30年の編入合併の時には、編入された5ヵ村に人口比率に応じて、それぞれ小選挙区を設けて選挙を行っています。仮に今回その方法を実行すると、日田市議26人はそのまま残り、日田郡の5選挙区から8人を選ぶことになります。議員全員（定数79名）が残ることもできますが、それでは多すぎて市民が納得しないのではないのでしょうか？

いづれにしろ、**合併は市民のために行うべきであり、これを政局に利用するようなことがあってはなりません。**

❖ご意見・ご感想等、下記の連絡先までお寄せ下さい❖

[連絡先] 井上明夫後援会・井上明夫 ☎877-1103 日田市鶴河内町4279
TEL.0973-28-2750 FAX.0973-28-2227/E-mail aiforest@lime.ocn.ne.jp